受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「ＳＢＩ・フラトンＶＰＩＣファンド」は去る2026年８月26日に第19期の決算を行いました。

当ファンドは主として、ベトナム、パキスタン、インド、中国の株式等に投資し、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第19期末（2026年８月26日）	
基準価額	24,187円
純資産総額	4,146百万円
第19期	
騰落率	6.4%
分配金（課税前）合計	0円

（注１）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
（注２）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
（注３）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記ＵＲＬにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

ＳＢＩ・フラトンＶＰＩＣファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第19期（決算日：2026年８月26日）

作成対象期間（2025年８月27日～2026年８月26日）

SBI Asset Management

ＳＢＩアセットマネジメント株式会社

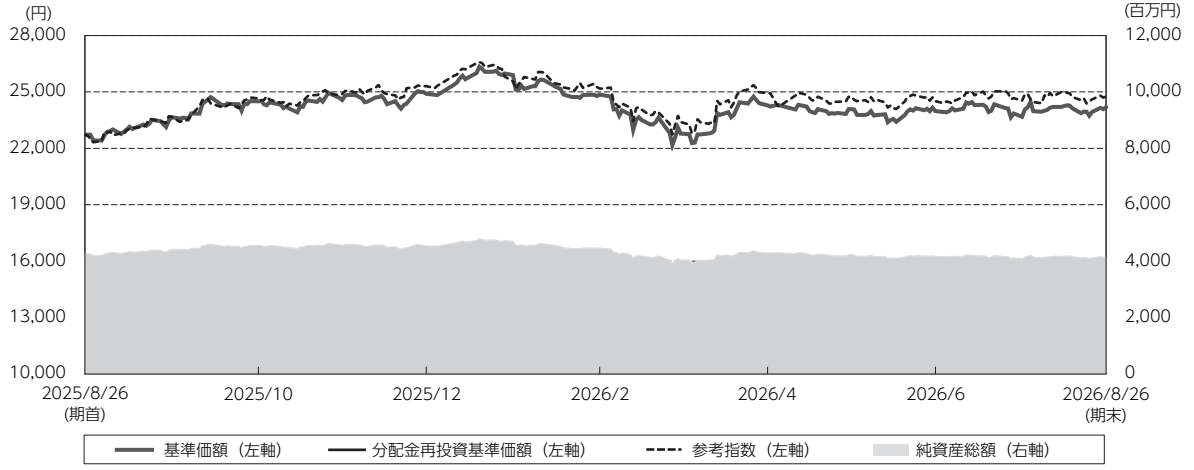
東京都港区六本木1-6-1
お問い合わせ先
電話番号 03-6229-0097
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
https://www.sbiam.co.jp/

運用経過

基準価額等の推移

（2025年８月27日～2026年８月26日）



期　　首：22,727円
期　　末：24,187円（既払分配金（課税前）：0円）
騰 落 率：　　6.4%（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（課税前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2025年８月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。
（注４）参考指数についての説明は、Ｐ15の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。
（注５）上記騰落率は、小数第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因
・ベトナムおよびパキスタンの株式市場が上昇したこと
・ベトナム・ドン、パキスタン・ルピーおよび中国元が日本円に対して上昇したこと

下落要因
・インドおよび中国の株式市場が下落したこと
・インド・ルピーが日本円に対して下落したこと

１万口当たりの費用明細

（2025年８月27日～2026年８月26日）

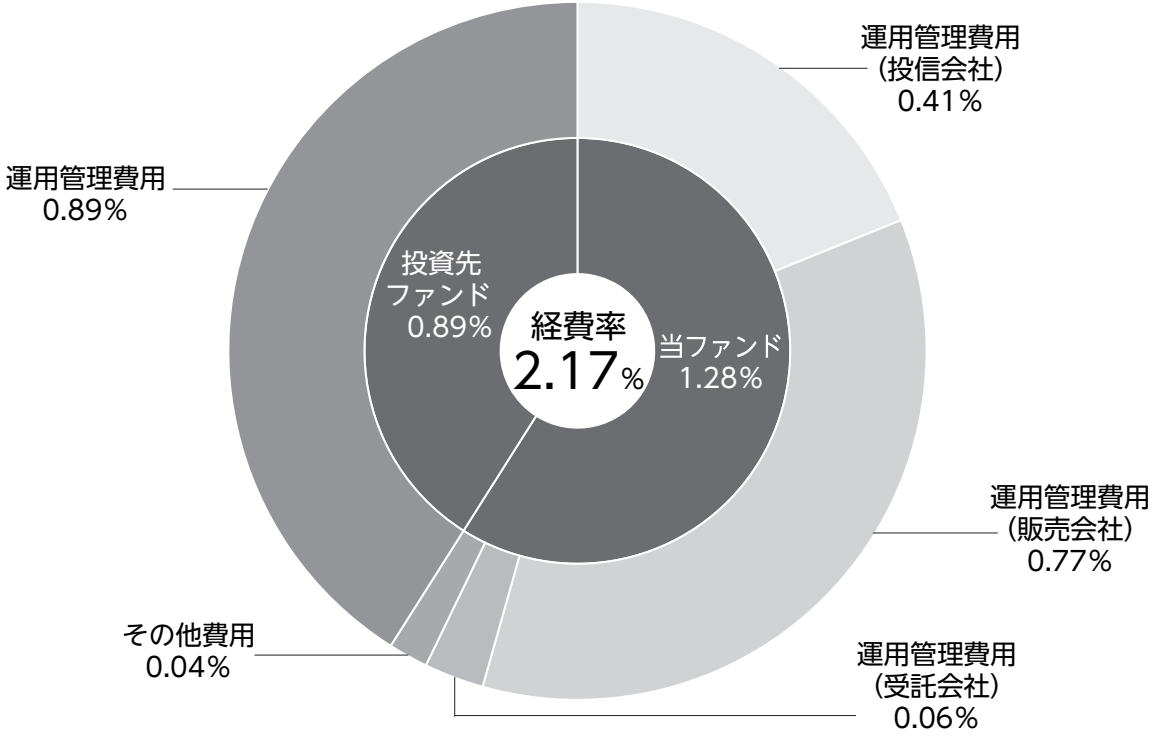
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	296	1.232	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(98)	(0.407)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(185)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(13)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	10	0.043	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(4)	(0.016)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(7)	(0.028)	開示資料等の作成・印刷費用等
合計	306	1.275	
期中の平均基準価額は、24,029円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注５）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注６）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注７）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第４位は四捨五入してあります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は2.17%です。**

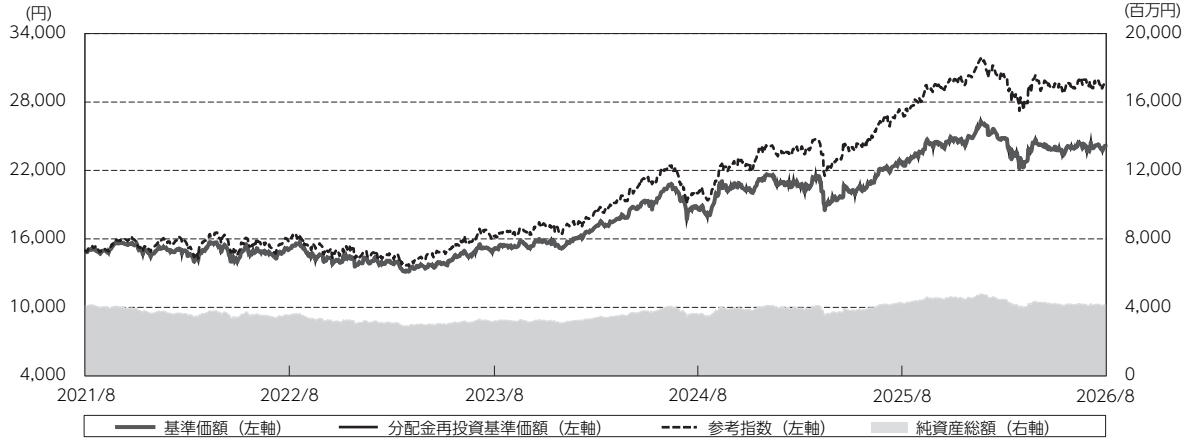


経費率（①＋②）	2.17%
①当ファンドの費用の比率	1.28%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%

(注１) ①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注２) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注３) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
(注４) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。
(注５) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注６) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注７) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
(注８) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2021年８月26日～2026年８月26日）



（注１）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年８月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。

	2021年８月26日 決算日	2022年８月26日 決算日	2023年８月28日 決算日	2024年８月26日 決算日	2025年８月26日 決算日	2026年８月26日 決算日
基準価額　（円）	14,936	15,145	15,076	18,703	22,727	24,187
期間分配金合計（課税前）　（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　（%）	－	1.4	△ 0.5	24.1	21.5	6.4
参考指数騰落率　（%）	－	6.9	1.6	23.3	36.0	8.9
純資産総額　（百万円）	4,088	3,549	3,182	3,607	4,259	4,146

（注１）参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。参考指数についての説明はＰ15の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。
（注２）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
（注３）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。小数第２位を四捨五入しています。

投資環境

（2025年８月27日～2026年８月26日）

当期のアジア株式市場は、世界の株式市場のパフォーマンスを上回り、期を通して堅調に推移しました。テクノロジーおよび資本材セクターの成長を背景に、韓国および台湾株式の好調が主な要因となりました。

当ファンドが主要対象とするアジアの株式市場では、ベトナムおよびパキスタンの市場が良好なリターンを示した一方、インドおよび中国市場が出遅れ、各市場の相場展開に差が現れました。

＜ベトナム株式市場＞

当期のベトナム株式市場は上昇しました。堅調なGDP（国内総生産）成長率や安定したFDI（外国直接投資）の資金流入等、経済のファンダメンタルズは底堅いものとなりましたが、市場では数ヵ月間にわたり、ボラティリティの高い状況が続きました。2026年前半には、世界の株価指数を提供するFTSEラッセルが同市場の市場分類を「フロンティア市場」から「新興国市場」へ格上げすると発表し、海外からの資金流入が見込まれていたものの、外国人投資家の売りや貿易を巡る不透明感およびエネルギーコスト等が懸念材料となり、市場は上昇幅を縮小しました。

＜パキスタン株式市場＞

当期のパキスタン株式市場は上昇しました。当ファンドが主要対象とする４市場の中で最も良いパフォーマンスとなりました。マクロ経済の安定化、企業マインドの改善および対外収支指標の改善が主な要因となりました。インフレ率は当初大幅に鈍化しましたが、その後はエネルギー価格や輸入コストの上昇によって再加速しました。パキスタン中央銀行は、2026年４月の金融政策決定会合において政策金利を1.00%引き上げ11.5%とし、６月と７月の会合では据え置きとしました。

＜インド株式市場＞

当期のインド株式市場は下落しました。経済成長の勢いが鈍化したことと、外国人機関投資家によるインド株式市場からの資金流出が要因となりました。また、エネルギーコストの上昇や企業業績の懸念も市場心理の重石となりました。RBI（インド準備銀行）は、2025年中に政策金利であるレポ金利を1.25%引き下げました。金利環境が以前ほど緩和的でなくなった可能性がある中で企業業績を伸ばす必要性によるものでしたが、その後は2026年８月まで据え置きとしました。2025年９月には、政府によるGST（物品・サービス税）の合理化策が実施され、４段階の税区分が２段階に統合されました。特定の製品に対する税負担を軽減し、特に自動車やヘルスケア分野における国内消費を増加させる目的によるものでした。

＜中国株式市場＞

当期の中国株式市場は下落しました。政府主導による積極的な政策スタンスと2026年～2030年を対象とする「第15次５カ年計画」の下で、追加支援への期待を背景に市場は断続的に上昇する場面があり

ましたが、不動産セクターを巡る懸念、国内需要の低迷、対外貿易を巡る不透明感等が上昇分を相殺しました。同計画では、質の高い発展、技術の自立、産業生産の高度化および消費セクターの強化が優先事項とされており、政策の関心は送電網や計算能力といったインフラ、教育および医療へ向けられている一方、AI（人工知能）や先端半導体への投資も重要なテーマとなりました。しかし、輸出の底堅さは維持したものの、経済回復のばらつきが引き続き投資家心理の重石となりました。PBOC（中華人民銀行）は、2026年１月に民間企業、技術革新、農業および中小企業への支援を含む構造的金融政策ツールの金利を0.25％引き下げるとともに再貸出枠を2.1兆元拡大しました。

＜国内短期金融市場＞

当期における３ヵ月物国庫短期証券の利回りは、期初には0.479％程度の水準で推移していましたが、その後も追加利上げの観測から上昇は続き、期末時点では1.078％程度の水準となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年８月27日～2026年８月26日）

当ファンドは、円建て外国投資信託証券「Fullerton VPIC Fund Class A Units」受益証券（以下「投資先ファンド」といいます）と、「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としています。当期は「投資先ファンド」への投資割合を高位に保ち、「新生 ショートターム・マザーファンド」を組入れた運用を行いました。

＜投資先ファンド（Fullerton VPIC Fund Class A 受益証券）＞

投資先ファンドでの国別投資比率は、前期末においてベトナム21％、パキスタン25％、インド27％、中国26％となっていましたが、当期末にはベトナム25％、パキスタン23％、インド27％、中国25％と、ベトナムを引き上げる一方で、パキスタンおよび中国の比率を引き下げています。現金等については、前期末の１％から当期末には０％へ引き下げました。また、当期末の業種別配分では、金融セクター、一般消費財・サービスセクター、素材セクターが上位セクターとなっています。

＜新生 ショートターム・マザーファンド＞

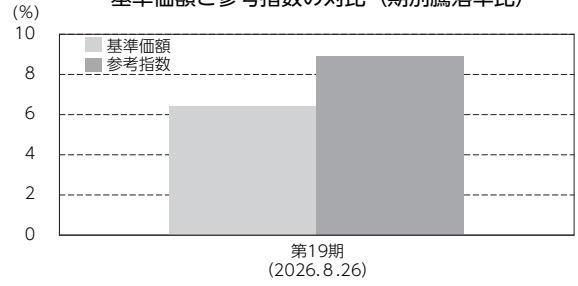
新生 ショートターム・マザー・ファンドでは、主として国庫短期証券等を組み入れました。組み入れ期間において国庫短期証券等の利回りは常にプラスで推移しており、当期の基準価額は上昇しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年８月27日～2026年８月26日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率比）



（注１） 基準価額の騰落率は分配金（課税前）込みです。
（注２） 参考指数についての説明は、Ｐ15の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。

分配金

（2025年８月27日～2026年８月26日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第19期 2025年８月27日～ 2026年８月26日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	14,898

（注１）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注２）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、引き続き、投資先ファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

＜投資先ファンド（Fullerton VPIC Fund Class A 受益証券）＞

トランプ米国大統領の関税政策は世界的な貿易減速を招くほか、企業の設備投資意欲を減退させる可能性があります。また、日本を除くアジアの株式市場のバリュエーションは、企業業績の伸びを背景に依然として割安な水準にあると考えています。

中国は、技術の自立を目指す中でテクノロジーやAIへの投資を継続すると予想しています。地政学的な不確実性が続く中では、再生可能エネルギー関連のソリューションは需要の高まりの恩恵を受ける可能性があります。

インドは、規制環境の改善が見られる中、流動性も好転し成長を後押しする見通しです。エネルギーコストの高止まりに対する懸念があるものの、これらは成長の支えになると思われます。

投資先ファンドでは、テクノロジー、製造業、ヘルスケアおよび金融といったセクターへの投資機会を見出しています。アジアについては、AIおよび製造業のサプライチェーンにおける主要なサプライヤーに対して引き続きポジティブな見方を維持しています。

＜新生 ショートターム・マザーファンド＞

今期、日本銀行は2025年12月と2026年６月に、それぞれ0.25％ずつ、計２回の政策金利の引き上げを実施しました。１回目の利上げは、基調的な物価上昇率と整合的な金利水準への調整を目的としたものであり、２回目の利上げは、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格上昇が国内インフレを押し上げるリスクへの対応として位置付けられます。また、政策金利が１％に達した段階で、日本銀行は従来の「実質金利が極めて低い水準にある」という表現から、「金融環境は緩和的である」という表現へと説明を変更しました。この表現の変化は、金融緩和の度合いが徐々に縮小し、金融正常化が進展していることを示唆するものと考えられます。

日本銀行は段階的な金融正常化を進める一方で、外部環境を巡る不確実性や国内外の政治的要因にも配慮しながら、慎重かつ柔軟な政策運営を維持しているものと考えられます。

ファンドの運営については、引き続き当初の運用計画に基づき、国庫短期証券等への投資を継続する方針です。

お知らせ

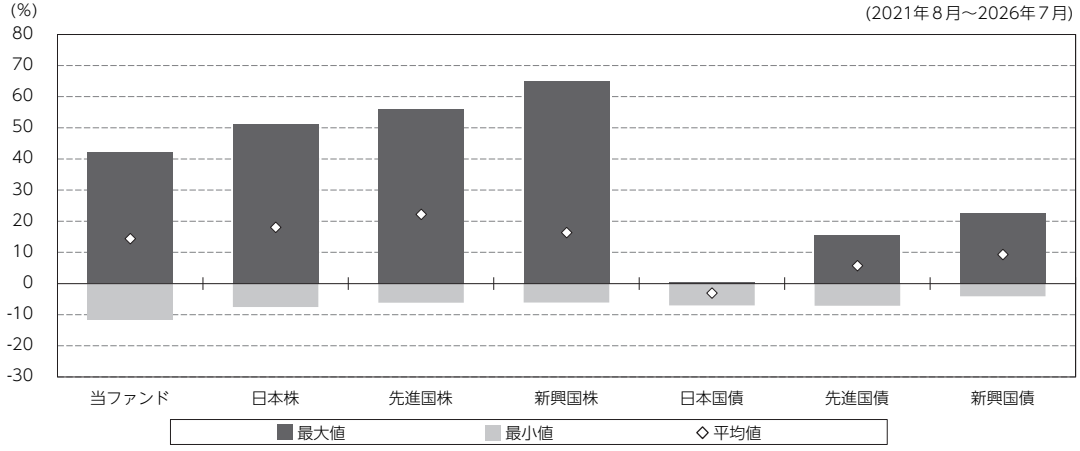
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限です。クローズド期間はありません。	
運用方針	投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。	
主要投資対象	ケイマン籍の円建て 外国投資信託 「Fullerton VPIC Fund Class A」 受益証券	ベトナム、パキスタン、インド、中国（香港証券取引所等に上場している中国本土関連銘柄を含みます。）の株式です。（未上場株式や国外の証券取引所に上場している株式に投資する場合があります。）そのほか、預託証書、株式や株価指数に係るオプションを表示する証券または証書、償還金額等が株式や株価指数の価格に連動する効果を有する債券等に投資する場合があります。また、株式や株価指数を対象とした先物取引、スワップ取引、オプション取引などを利用する場合があります。
	証券投資信託 「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券	わが国の短期公社債および短期金融商品等に投資します。
運用方法	・主要投資対象である「Fullerton VPIC Fund Class A Units」受益証券への投資を通じて主として、ベトナム、パキスタン、インド、中国の株式等に投資し、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。その他、国内投資信託「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券に投資します。 ・ベトナム、パキスタン、インド、中国の国別配分比率は、原則として各々20%、20%、30%、30%を基本とします。投資先ファンドにおける国別配分は、マクロ経済や企業業績の動向および株式市場のバリュエーションなどを分析し、原則として基本構成比の±10%の範囲内で変動させます。 ・実質組入外貨建て資産について、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	毎決算期末に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲 経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の範囲で、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。 ② 分配対象額についての分配方針 委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 ③ 留保益の運用方針 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益（無分配期の利益を含みます。）については、運用の基本方針に基づき運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.3	51.0	55.9	65.1	0.6	15.4	22.7
最小値	△ 11.7	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	14.4	18.0	22.2	16.4	△ 3.1	5.7	9.3

（注１）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）2021年８月から2026年７月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注３）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注４）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日 本 株…Morningstar 日本株式指数
先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）
新興国株…Morningstar 新興国株式指数
日本国債…Morningstar 日本国債指数
先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）
新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

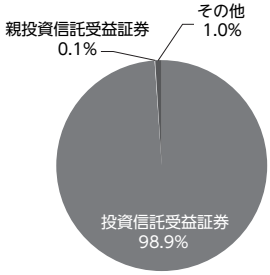
（2026年８月26日現在）

○組入上位ファンド

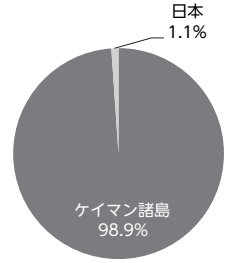
銘　　柄　　名	第19期末
	%
Fullerton VPIC Fund Class A	98.9
新生 ショートターム・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	２銘柄

（注１）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

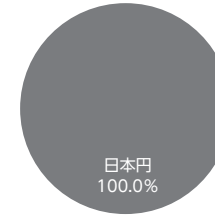
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注１）資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。
（注３）四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

純資産等

項　　目	第19期末
	2026年８月26日
純　資　産　総　額	4,146,482,623円
受　益　権　総　口　数	1,714,356,322口
１万口当たり基準価額	24,187円

（注）期中における追加設定元本額は32,948,495円、同解約元本額は192,659,753円です。

組入上位ファンドの概要

Fullerton VPIC Fund Class A

【基準価額の推移】
（2025年１月１日～2025年12月31日）



【１万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

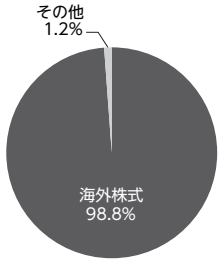
【組入上位10銘柄】

（2025年12月31日現在）

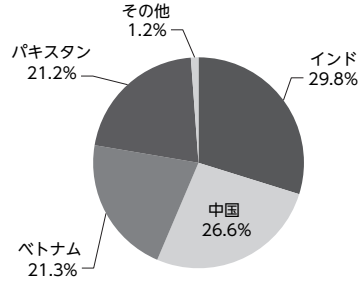
	銘柄名	通貨	業種	国（地域）	比率
					%
1	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港ドル	一般消費財・サービス	中国	4.6
2	TENCENT HOLDINGS LTD	香港ドル	コミュニケーション・サービス	中国	4.6
3	HDFC BANK LIMITED	インド・ルピー	金融	インド	4.2
4	VINCOM JSC	ベトナム・ドン	不動産	ベトナム	3.6
5	RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	インド・ルピー	エネルギー	インド	3.3
6	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	香港ドル	金融	中国	3.0
7	ICICI BANK LTD	インド・ルピー	金融	インド	2.4
8	FAUJI FERTILIZER COMPANY LTD	パキスタン・ルピー	素材	パキスタン	2.3
9	XIAOMI CORP-CLASS B	香港ドル	情報技術	中国	2.1
10	INFOSYS TECHNOLOGIES LTD	インド・ルピー	情報技術	インド	2.1
組入銘柄数		82銘柄			

（注１）比率は、当該組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注３）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

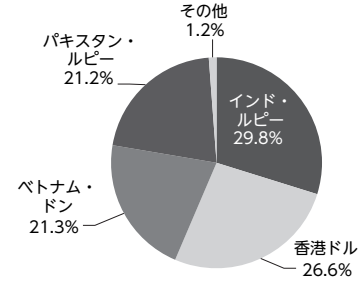
【資産別配分】



【国別配分】



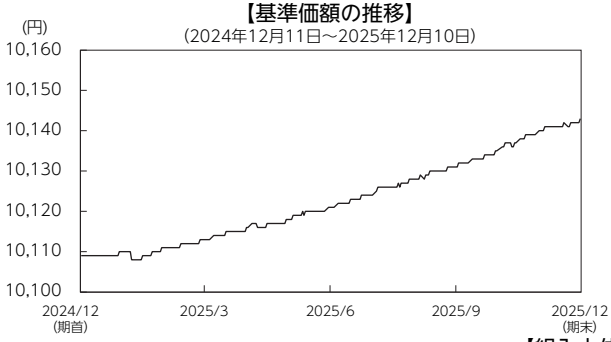
【通貨別配分】



（注１）比率は、当該組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注３）四捨五入の関係上合計が100％にならない場合もあります。

新生 ショートターム・マザーファンド

【基準価額の推移】
（2024年12月11日～2025年12月10日）



【１万口当たりの費用明細】
（2024年12月11日～2025年12月10日）

該当事項はございません。

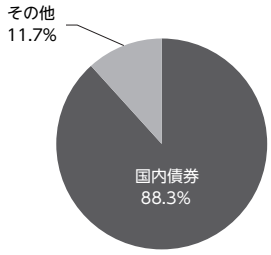
【組入上位10銘柄】

（2025年12月10日現在）

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	第1337回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	88.3
2	－	－	－	－	－
3	－	－	－	－	－
4	－	－	－	－	－
5	－	－	－	－	－
6	－	－	－	－	－
7	－	－	－	－	－
8	－	－	－	－	－
9	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		1銘柄			

（注１）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注３）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注１）比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注３）資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数第２位で四捨五入しているため、合計が100％に満たない場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照下さい。

＜当ファンドの参考指数について＞

参考指数は、ベトナムVN指数、カラチKSE100指数、インドCNXNIFTY指数、ハンセン中国本土企業株25指数の各指数データ（出所：ブルームバーグ）を20%、20%、30%、30%の基本構成比に基づき、設定時を10,000として指数化し、当社が独自に円換算したものです。また指数は、基準価額との比較を考慮して前営業日の同指数を営業日当日の為替を使用し独自に円換算しております。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日 本 株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。